

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース											
キャリアプランニング4											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	原田博之/末光篤			実務経験	有	職種	音楽家				
授業概要 <p>この講義では、音楽業界で働く為の最低限のルール、業界のルールを道徳的な観点から学生に伝えていく。ミュージシャンとしてスキルを上げるだけではなく、「人」として信頼される礼儀作法や、マナーを指導する。一般常識や、時事問題などを小テスト形式で学生に意識をさせ、世の中の情勢も音楽家として大切であることを伝える。担任とのプラクティスシートという交換日記のようなテキストがあり、このシートを通して、学生が何に悩み、何を今考えているのかを把握し、学生指導に役立てている。自分の考えを文字にして「書く」という行為をさせる時間でもあり、文字化する機会を増やす時間になっている。書くことに慣れさせることで、就職活動で履歴書に記述することに抵抗を持たない学生を育てることも主眼としている。</p>											
到達目標 <p>この講義を受講していく過程で音楽業界で働いていく為には、情報収集、人とのつながり、人間力、など音楽スキルではない、人としての付き合い方も非常に重要であることを理解し、自立して生きていける意識を持つ事を到達目標としている。講義内ではグループワークなどをメインで行い、学生達自身が司会をしたり、プレゼンしたりとアクティブラーニングの要素も多く取り入れ、学生自身が能動的に発言する授業を構成している。学校生活の日々の悩み、音楽を修得する上での壁など、ミュージックアーティスト科の学生ならではの悩みをクラス全体でシェアすることで、一人で悩まずに生きていく術を体得させていく。仲間を意識した制作進行、コライトの要素もクラス単位で情報をシェアすることから、始まることを伝える。</p>											
授業方法 <p>通年を通してPower Pointを使用した視覚に訴える講義の展開と仲間同士で話あるグループワークをメインに進行していく。それに伴った紙資料を配布し、しっかりと記入させるワークを行う。アクティブラーニング要素を重視し、与えられたテーマを複数人で話し、解決策を出すことになれさせ、一人で抱え込まない方法を体得させる。挨拶や言葉遣いは厳しく指導を行っていき、就職活動時の面接等でスムーズに移行できるようにサポートする。2次は社会人としてマナーや知識、そして、セルフマネジメントの知識を習得する。</p>											
成績評価方法 <p>試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢</p>											
履修上の注意 <p>専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。社会に出れば交通機関が乱れようとも仕事に遅れないことが基本であるため、その認識を高める。また一般常識問題に関しては知らない単語や言葉が出てくることもしばしばあり、その日分からなかったことは講義にあたる担任に確認したり、自ら調べることを怠ってはいけない。コミュニケーション力を重視するため、仲が良い学生だけではなく普段関わりの薄い学生とも交流を持ち、視野を広げること。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>											
教科書教材 <p>毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	卒業に向けて成すべき事を再確認する										
第2回	社会人としての基本姿勢を知る										
第3回	社会人としての基本ルールを再確認する										
第4回	自分自身の仕事を管理するために必要な力を身に付ける										
第5回	自分自身の仕事を管理するために必要な力を身に付ける										
第6回	時事問題などを課題として解決策をグループで出す										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース	
キャリアプランニング4	
第7回	時事問題などを課題として解決策をグループで出す
第8回	時事問題などを課題として解決策をグループで出す
第9回	3回のチームビルディングを通しての総括
第10回	卒業を見据え、自分の進路をグループ内で発表
第11回	卒業を見据え、自分の進路をグループ内で発表
第12回	自分自身のキャリアデザインについて、卒業前に考える
第13回	自分自身のキャリアデザインの軸となるものを考える
第14回	自分自身のキャリアデザインで譲れないものを考える
第15回	1年のまとめ